

人間は生まれながらにして
自由であり、平等である
いかなる国や個人も、いかなる理由であれ
絶対にこれを侵すことはできない

幾多の試練と犠牲のもとに
日本国憲法と世界人権宣言は
この人類普遍の原理をあらわし
人権の尊重が
国際社会の責務であることを明らかにした

今日、我が国社会の実情は
いまだに差別意識と偏見が
人々の暮らしの中に深く根づき
部落差別をはじめ
障害者、女性、先住民族、外国人への差別など
どれほど多くの人間が苦しんでいることが

人間が作りあげた差別は
人間の理性と良心によって
必ずや解消できることを
我々は確信する

平和で心ゆたかな
人間尊重の社会の実現をめざす品川区は
『人権尊重都市品川』を宣言し
差別の実態の解消に努め
人権尊重思想の普及啓発と教育を推進することを
ここに誓う
(人権尊重都市品川宣言より)

実現しよう 平和で心ゆたかな 人間尊重社会

人権尊重都市宣言のまち 品川区

12月4日～10日は人権週間

●世界人権宣言

昭和23(1948)年12月10日の国連総会において、世界人権宣言が採択され、その日を記念して、12月10日は「世界人権デー」と定められました。

日本では、世界人権デーを最終日とする1週間を人権週間と定めて、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を全国的に行っています。

●区での取り組み

区では、平成5年4月に都内で唯一の『人権尊重都市品川宣言』を制定し、平和で心ゆたかな人間尊重社会の実現をめざして、人権尊重思想の普及啓発に取り組んでいます。

今年も小・中学生の心温まる人権標語やポスターを多数展示した「しながわ人権のひろば」や「人権週間記念 講演と映画のつどい」を開催します。

これを機会にもう一度、人権について考えてみませんか。

人権週間記念

講演と映画のつどい

12月17日(金)

午後1時開演
(午後0時30分開場)

きゅりあん大ホール
(大井町駅前)

定員／1,100人(抽選)
申込方法／11月17日(水)
(消印有効)までに、
往復はがき(1枚で2
人まで)に「つどい」
とし、代表者の郵便番
号・住所・氏名(ふり
がな)・電話番号、参
加者の氏名(ふりがな)
を人権啓発課(☎140
-0013南大井5-2-
17総務部分室)へ

講演

すべての人の笑顔を守るため 虐待・差別をなくすのは地域から

児童虐待などの現場の取材
や障害者の人権を守る活動
の経験から、地域の役割な
どについてお話しします。

講師／野澤和弘

(毎日新聞論説委員)

※手話通訳・要約筆記付き。



映画

劔岳 点の記



©2009「劔岳 点の記」製作委員会

明治40年、陸軍陸地測量部の
柴崎は、日本地図最後の空白
地点を埋めるため、「陸軍の
威信にかけて、劔岳の初登頂
と測量を果たせ」という厳命
を受ける。柴崎が前任の測量
手から紹介された案内人の宇治長次郎らとともに、前人未踏
の頂きへひたむきに歩む物語です。

出演／浅野忠信 香川照之ほか ※字幕付き。

あなたの“気づき”が解決の第一歩

みんなでなくそう 虐待・DV

人権啓発課 ☎3763-5391
子育て支援課 ☎5742-6589
高齢者福祉課 ☎5742-6729

気づいて

「虐待かな？」
あなたの小さな気づきが解決の第一歩です。

つないで

しながわ見守りホットラインにお電話ください。
24時間つながります。秘密は守られます。

情報を受け付けた場合、まず状況を調査します。虐待が疑われる場合は、どのような支援が必要か検討し、対応します。地域からの早い段階の通報が、虐待を防ぐことにつながります。

見守って

「こんにちは」「大変ですね」
周りのちょっとした笑顔や気づかい、声かけが、子育てや介護の孤立を防ぎます。

しながわ見守りホットライン (24時間情報受付ダイヤル)

児童虐待・DVは ☎3772-6622
高齢者虐待は ☎3772-6699

SOSサインの一例

<こどもの様子>

- ☐ 激しい泣き声や大人のどなり声が絶えない
- ☐ 原因不明のけがをしている
- ☐ 家に帰りがたらない
- ☐ 表情が乏しく、元気がない
- ☐ いつもお腹をすかせている

<高齢者の様子>

- ☐ 毎日高齢者の叫ぶような声が聞こえる
- ☐ 不自然なけがが多い
- ☐ おびえ、わめくなど情緒が不安定
- ☐ 気候や天気が悪いのに公園など家の外にいる
- ☐ 衣類や体がいつも汚れている



男女共同参画センター電話相談

パートナーからの暴力に悩んでいる人は ☎5479-4105

木曜日午前10時～午後4時（祝日、年末年始除く）
そのほか、弁護士による法律相談とカウンセラーによる心の悩み相談があります。
詳しくは男女共同参画センター ☎5479-4104へ

しながわ人権のひろば2010

日時 12月4日(土)～6日(月)午前9時30分～午後4時45分
※6日は午後3時まで。

- 小中学生人権標語・ポスター展
- 人権啓発パネル展（人権擁護委員の活動紹介など）

会場／レクホール

会場は
荏原文化センター
(中延1-9-15)

12月4日(土)

●女性弁護士による法律相談

時間／①午前9時30分～午後0時30分 ②午後1時30分～4時30分

会場／第2講習室

定員／各6人（先着）

申込方法／12月3日(金)までに、電話で男女共同参画センター ☎5479-4104へ

12月5日(日)

●映画「西の魔女が死んだ」DVD上映会

西の魔女とはママのママ、つまりおばあちゃんのこと。中学に進みまもなく、学校へ足が向かなくなったまは、西の魔女のもとで過ごす。日常生活の手ほどきを受けたが、魔女が教えてくれたことは「何でも自分で決める」ことだった。喜びも、希望も、幸せも――。

時間／午後1時30分～3時50分

※上映に先立ち、「小学生人権メッセージ」と「中学生人権作文」の品川区代表作品を朗読します。

出演／サチ・パーカー、高橋真悠 ほか ※字幕付き。

定員／400人（先着）

会場・観覧方法／当日、大ホールへ

問い合わせ／人権啓発課

●人権擁護委員による人権身の上相談

時間／①午前9時30分～午後0時30分 ②午後1時30分～4時30分

会場／第2講習室

定員／各3人（先着）

申込方法／12月3日(金)までに、電話で広報広聴課区民相談室 ☎3777-2000へ



©2008「西の魔女が死んだ」製作委員会

12月6日(月)

●家庭教育講演会「賢い親の賢い子育て」

時間／午前10時～正午

講師／安尾久子（品川区教育委員会教育委員長） ※手話通訳付き。

定員／430人（先着）

託児／2歳～就学前のお子さん20人（先着） ※おやつ代100円。

※託児希望の方は、11月29日(月)までに、電話で庶務課へ。

会場・参加方法／当日、大ホールへ

問い合わせ／庶務課庶務係 ☎5742-6824

人権擁護委員の活動

人権擁護委員は地域の中から人権擁護に理解のある方を区長が推薦し、法務大臣が委嘱します。22年度は「みんなで築こう 人権の世紀～考えよう 相手の気持ち育てよう 思いやりの心」をテーマに様々な啓発活動を積極的に展開しています。

人権啓発活動

品川区人権擁護委員会では憲法週間や人権週間における啓発活動に参加するとともに、毎年小学校に「人権メッセージ」の発表や「人権の花」運動、中学校に「人権作文」の協力をお願いしています。

今年は「人権メッセージ」の発表に小山小学校5年生の皆さんが参加しました。「人権の花」は伊藤・中延・戸越小学校の皆さんが「グラジオラス」「百日草」「サルビア」の花を咲かせました。

「人権作文」は八潮学園、荏原平塚学園、荏原第六中学校の皆さんが参加しました。このような活動を通して、思いやりの心をはぐくみ人権の大切さについて学んでいます。（品川区人権擁護委員会）

区の人権擁護委員	野田 律子（東品川）	小原 愉里（東品川）	鶴田 忠雄（西品川）
塚田成四郎（東五反田）	小路 良（南大井）	小越 是誠（南大井）	森田 和枝（西大井）
海沼マリ子（平塚）	山本 文武（旗の台）	富沢 敦子（戸越）	

人権擁護委員による人権身の上相談

悩みをお持ちの方は一人で悩まずに、気軽にご相談ください。

相談日／第1・3火曜午後1時～4時 ※受付は午後3時まで。

問い合わせ／広報広聴課区民相談室 ☎3777-2000

○人権週間街頭キャンペーン 12月17日(金)午前11時40分から大井町駅前

障害者週間

記念のつどい

障害者週間（12月3日～9日）を記念して毎年開催しています

日時／12月5日(日)午後1時～4時（正午開場）
第1部 記念式典・障害者表彰
第2部 暮らしを支える施設の紹介、障害者による「よさこいソーラン」ほか
第3部 新垣勉おしゃべりコンサート
※障害者団体紹介パネル展示、障害者施設作品販売も行います。
※先着1,000人に記念品をプレゼントします。

※手話通訳・要約筆記付き。
※視覚障害のある方へ、副音声で舞台の解説をしています。
会場・参加方法／当日、きゅりあん大ホール（大井町駅前）へ
問い合わせ／障害者福祉課（☎5742-6707 Fax3775-2000）